

# 2022 やまがた県政の動き



山 形 県

## 表紙写真

「地域連携 IC カード「cherica(チェリカ)」サービス開始記念式典」(2022.5.14 左上)

「「つや姫」「雪若丸」田植え」(2022.5.19 右上)

「「やまがた紅王」プレデビュープレスイベント」(2022.6.23 左中)

「第 26 回新潟・福島・山形三県知事会議」(2022.9.7 右中)

「令和 4 年度北海道東北地方知事会議」(2022.10.26 左下)

「「つや姫」「雪若丸」トップセールス」(2022.11.2 右下)

# 2022 県政の動き 出来事一覧

## 1月

- 4日 右足首の骨折により入院・療養していた吉村知事が公務復帰
- 4日 宿泊料の割引等を行う「やまがた冬割キャンペーン」を開始
- 5日 昨年末の新型コロナ「オミクロン株」の初確認を受け、無症状の県民等を対象に、県立河北病院の「山形県PCR自主検査センター」で無料PCR検査を開始
- 5日 世界ボクシング選手権ウェルター級で日本人初の金メダルを獲得した岡澤セオン選手へ山形県スポーツ大賞を贈呈
- 7日 県内のオミクロン株感染者の急増に加え、病床使用率が5.5%、直近1週間の人口10万人あたり新規感染者が1.86人となった事を受け、県の新型コロナ対応の目安(注意・警戒レベル)を「0(維持)」から「1(注意)」に引き上げ
- 12日 全国知事会「第31回新型コロナウイルス緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 オミクロン株の特性を踏まえた専門的・医学的見地からのワクチン・検査パッケージの見直し等について発言
- 18日 新型コロナワクチンについて、県内における3回目接種が開始
- 19日 県庁で「山形県新型コロナウイルス感染症に係る危機対策本部」第42回本部員会議(以下、「新型コロナ 本部員会議」という。)を開催 県全体の注意・警戒レベルを「2(警戒)」に引き上げ 無料PCR検査の延長、山形県PCR自主検査センターの拡充等を決定
- 19日 県内の大雪による被害状況を受け、知事を本部長とする「豪雪対策本部」を設置 設置は昨冬に続き2年連続 雪害状況や今後の対応について確認
- 21日 山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟(会長:吉村知事)が、東日本旅客鉄道株式会社本社と国土交通省を訪問し、山形新幹線の福島一米沢間トンネル新設の早期事業化等を要望
- 24日 県は、新型コロナ第43回本部員会議を開催 県内における新型コロナの感染急拡大を受け、同日、政府に対し、本県に「まん延防止等重点措置」を適用するよう要請したことを報告
- 25日 県は、新型コロナ第44回本部員会議を開催 まん延防止等重点措置の適用対象地域と行動制限などの要請内容について決定
- 27日 県内で新型コロナウイルスに係るまん延防止等重点措置が初めて適用される 山形市と庄内全域(5市町)が対象 不要不急の外出自粛や飲食店への営業時間の短縮等を要請 期間は2月20日まで

- 28日 全国知事会「第32回新型コロナウイルス緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 オミクロン株に関する科学的知見に基づいた制度の見直し、深刻な打撃を受けている観光宿泊業等への支援を要請
- 28日 県教育委員会、県スポーツ協会、県スポーツ振興議員連盟が、北京冬季オリンピックに出場する本県関係6選手に激励金を贈呈

## 2月

- 1日 県は、新型コロナ第46回本部員会議を開催 まん延防止等重点措置区域への米沢市と高島町の追加、学校等における感染防止対策全般について支援する「学校等支援タスクフォース」の設置、県によるワクチンの大規模接種の実施について決定
- 3日 新型コロナ感染拡大を受け、米沢市と高島町にまん延防止等重点措置の適用を開始
- 3日 県は、ポストコロナの観光需要を見据え、ウェブ上で受検可能な「山形ふるさと観光検定」を実施
- 7日 県は、新型コロナ第47回本部員会議を開催 まん延防止等重点措置区域への天童市の追加を決定
- 7日 県は、今冬の豪雪により除排雪予算が急伸していることを受け、県市長会、県町村会と合同で、国土交通省に対して除排雪に係る財政支援を緊急要望
- 7日 全国知事会と全国商工会連合会とのオンラインでの意見交換会に、吉村知事が全国知事会男女共同参画プロジェクトチームのリーダーとして参加 女性の正社員化、賃金向上等の課題について意見交換
- 7日 県内の道路除雪にかかる指定雪量観測点4地点(米沢、山形、尾花沢、新庄)で警戒積雪深に達したため、4年ぶりに「山形県道路雪害対策本部」を設置
- 9日 新型コロナ感染拡大を受け、天童市にまん延防止等重点措置の適用を開始
- 9日 県が建て替えを行っていた朝日川第一発電所の新施設で発電を開始 最大出力は9,500kW、年間発電電力量は5,302万kWh
- 10日 環境に関心を持ち、取組みを実践している小・中・高校生「やまがたカーボンニュートラル大使」がそれぞれの活動などについて発表・交流する「やまがたカーボンニュートラル大使ミーティング」をオンラインで開催
- 12日 北京冬季オリンピックスピードスケート競技男子500メートルで県立山形中央高校出身森重航選手が銅メダルを獲得

- 15日 令和4年度一般会計当初予算案を県議会に内示 一般会計の総額は6,849億円(前年度当初予算比0.4%増)
- 15日 全国知事会「第33回新型コロナウイルス緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 「みなし陽性」判断の統一基準の設定、まん延防止等重点措置の実態に即した改善、抗原定性検査キットの安定供給等を要請
- 16日 県は、新型コロナ第48回本部員会議を開催 県内9市町に適用されているまん延防止等重点措置について、適用期限の2月20日で解除するよう政府に要請することを決定
- 16日 県は、新型コロナ急拡大の影響で売上げが落ち込んだ県内の宿泊施設について「山形県宿泊業緊急支援給付金」の申請受付を開始 1施設当たり最大120万円給付
- 17日 県議会2月定例会が開会(～3/17)
- 17日 「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けて、県民、事業者等が今後主体的に行っていくべき取組みをまとめた「カーボンニュートルやまがたアクションプラン」を策定
- 18日 県は、新型コロナ第49回本部員会議を開催 まん延防止等重点措置解除後、県独自の「再拡大(リバウンド)防止特別対策期間」への移行、県内4ブロックでのワクチンの3回目大規模接種の実施等を決定
- 18日 県は、令和3年度山形県スポーツ賞授賞者を決定 県スポーツ大賞には東京パラリンピックに出場した男子競泳の東海林大、齋藤元希の2選手が選出
- 20日 県内の新型コロナウイルス感染者数の累計が1万人を突破
- 21日 県内全域を対象に「再拡大(リバウンド)防止特別対策期間」の開始 期間は3月6日まで 全県での部活動の自粛、不要不急の県外との往来自粛等を要請 飲食店への時短営業要請については終了
- 21日 県総合運動公園陸上競技場の施設命名権(ネーミングライツ)について、現命名権者であるエヌ・デーソフトウェア株式会社と契約の更新について合意期間は2025年2月までの3年間 吉村知事と同社代表取締役が協定書を締結
- 24日 令和3年度山形県卓越技能者等表彰者及び若者技能振興奨励賞受賞者を発表 優秀な技能者や職業能力開発に功労のあった卓越技能者等15名、3団体及び高等学校在学中に技能検定2級に合格し、卒業後県内事業所に就職した6名に対して表彰を決定

## 3月

- 1日 県議会において、「ロシアによるウクライナ侵略に断固抗議する決議案」を全会一致で可決

- 2日 県内で、新型コロナウイルスワクチンの5～11歳へのワクチン接種が開始
- 2日 (財)日本穀物検定協会が実施する令和3年産米の食味ランキングで、県産米の「つや姫」がデビュー以来12年連続、「雪若丸」がデビュー以来4年連続で最高の「特A」評価を獲得
- 4日 県は、新型コロナ第50回本部員会議を開催「再拡大(リバウンド)防止特別対策期間」を3月6日をもって終了し、「クラスター抑制重点対策」へ移行することを決定
- 7日 **「クラスター抑制重点対策」の開始 期間は3月21日まで 大規模接種事業による3回目ワクチン接種の推進、高齢者施設・保育施設等への訪問による実施状況確認、学校におけるチェックリストを活用した感染防止対策の実施状況の確認等を実施**
- 10日 山形県文化財保護審議会は、「銅造毘沙門天立像」と「三部抄」について、県有形文化財に指定するよう答申
- 14日 県と株式会社ダイユーエイトは「災害時における物資供給に関する協定」を締結 吉村知事と同社代表が県庁で締結式
- 15日 県は、令和4年度一般会計当初予算案について、「果樹王国情報発信の拠点施設整備事業費」を削除した修正案(6,848億円)を議会へ提案 同日、本会議で可決
- 16日 23時36分頃、福島県沖を震源とした地震が発生(マグニチュード7.4) 県内では中山町で震度5強、他の市町村においても震度5弱及び4を観測 知事を本部長とする災害対策本部を直ちに設置し、災害対策本部員会議を開催
- 16日 県議会において、「政治倫理の向上に向けた宣言」及び「山形県政務活動費の交付に関する改正条例案」を全会一致で可決 知事に対して、「関係人口の拡大、移住・定住の促進」「地域の医療提供体制のあり方」「県産農林水産物のブランド化推進」など19の政策提言を実施
- 17日 令和4年2月定例会の最終日に副議長選挙が行われ、第67代副議長に加賀正和議員が選出
- 22日 鮭川村長に元木洋介氏が無投票で5選
- 22日 県庁で「2021輝く県民活躍大賞」の授賞式を開催 「ジュニア・ユース部門」、「若者部門」、「一般社会貢献部門」の3部門で計7団体が顕彰
- 23日 全国知事会「第35回新型コロナウイルス緊急対策本部」に吉村知事がWeb会議で参加 12～17歳への3回目接種に使用するファイザー製ワクチンの追加配分、県と市町村に対する自由度の高い地方創生臨時交付金の追加配分等を要請
- 23日 県庁で「令和3年度消防関係功労者表彰式」を開催 計1,724の個人・団体が受賞 表彰式では、代表の7名・2団体に表彰状を授与

- 23 日 県は、ロシアの侵攻によるウクライナからの避難者受け入れ先として県営住宅を確保したことを発表
- 24 日 県と県警察本部、山形県遊技業協同組合は、「災害時における支援協力に関する協定」を締結 吉村知事及び県警察本部長、同組合代表が県庁で締結式
- 24 日 第6回「山の日」全国大会記念式典で使用する「山鐘」を株式会社ヤマコーより協賛 県庁で協賛品贈呈式を開催
- 25 日 スリーエムジャパン株式会社が、新型コロナウイルス感染対策として、3M製呼吸用防護具(N95 マスク)10万枚を県に寄贈
- 28 日 「ゼロカーボンやまがた 2050」の実現に向けた取組みを推進する「ゼロカーボンやまがた推進本部会議」を開催 県が率先して事務事業の環境負荷軽減に努めるとともに気候変動対策に関する施策に総合的に取り組むことを決定
- 28 日 北京冬季オリンピックで銅メダルを獲得した森重航選手らスケート4選手の山形県スポーツ大賞、栄光賞授賞式を県庁で開催
- 30 日 天皇皇后両陛下から、今冬期の大雪等により甚大な被害を受けた本県を含む6道県に対し、災害見舞金が出賜

## 4 月

---

- 1 日 山形県、宮城県、福島県と東日本旅客鉄道株式会社は、4月1日から6月30日にかけて、「巡るたび、出会う旅。東北 宮城・山形・福島」春の観光キャンペーンを開催
- 1 日 「やまがた春旅キャンペーン」を開始 「やまがた冬割キャンペーン」から名称を変更し、利用期間を5月31日まで延長(4月29日から5月8日を除く)
- 1 日 県と東北工業大学が「学生 UI ターン就職促進に関する協定」を締結 同大学卒業生の県内就職を促進 県が同趣旨の協定を結ぶのは東北では東北学院大学に続いて2件目
- 7 日 モンテディオ山形の相田健太郎社長と、新スタジアム推進事業株式会社の寒河江浩二代表取締役、天童市の山本信治市長が吉村知事に面会 知事は、県有地である県総合運動公園の特設駐車場を新スタジアム建設地として使用することについて協力する旨を回答
- 12 日 全国知事会 社会保障常任委員会と日本医師会との意見交換会に吉村知事が Web 会議で参加 地域包括ケアシステムの人材育成、確保を課題として発言

- 14日 第12回「新型コロナ克服・創造山形県民会議」を Web 会議で開催 オミクロン株派生型「BA.2」への置き換わりが進む県内の感染状況について説明し、感染防止対策や経済活性化等について意見交換
- 17日 西川町長に菅野大志氏が初当選
- 17日 高畠町長に高梨忠博氏が初当選
- 19日 令和4年4月1日現在における県内保育所等利用待機児童がゼロ人であったことを発表 ゼロ人となるのは一昨年及び昨年から引き続き3年連続
- 20日 県とキューピー株式会社は、「災害時等における応急生活物資の供給に関する協定」を締結 災害発生時における要配慮者向けの食料品の供給に特化した協定締結は本県初
- 26日 全国知事会「第36回新型コロナウイルス緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 ワクチン4回目接種対象者への医療従事者の追加等について要請
- 27日 県は、最上地域の実情を踏まえた意見交換を行い、今後の施策展開への反映を図るため、オンラインで「最上創生懇談会」を実施 「ポストコロナを見据えて」をテーマに、知事と最上地域の有識者や実践者が意見交換（4月27日から6月1日までに各4地域で実施）
- 27日 県や市町村、県内農業団体等で組織する「山形おいしさ極める！米づくりプロジェクト本部」の総会を県建設会館で開催 令和3年度の事業報告と共に、高品質・良食味生産の推進等を盛り込んだ令和4年度事業計画を決定
- 28日 県は、ゴールデンウィーク期間中における新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図るため、JR 山形駅東西自由通路に臨時の無料抗原検査所を設置 5月8日まで
- 28日 県自治会館で「山形さくらんぼブランド力強化推進協議会」を開催 県産さくらんぼのさらなるブランド力強化に向けた今年度の取組内容を検討 同日、「さくらんぼ労働力確保対策ワーキングチーム会議」を開催 ワーキングホリデーを活用した労働力確保等の確認
- 28日 スピードスケート元日本代表の加藤条治選手、ウイリアムソン師円選手が知事を表敬訪問し、競技引退について報告
- 29日 新型コロナウイルス感染拡大防止の啓発活動として、山形・庄内両空港の到着便利用者に抗原検査キットを配布

## 5月

- 9日 吉村知事と県内各 JA 組合長との意見交換会を県庁で開催 JA 側からは昨年の凍霜害を踏まえた果樹産地の再生や生産資材の高騰に対する支援等を求める声上がり、一丸となって取り組むことを確認

- 10 日 令和4年春の叙勲・褒章の県内の受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 県内からは、叙勲 23 名、褒章9名、危険業務従事者叙勲8名が受章
- 11 日 **令和4年度県及び市町村長・議長会議を Web 会議で開催 県と市町村が更に連携を深めていくため、市町村長、市町村議会議長が一同に会し、県との意見交換を行う場として、これまでそれぞれ別々に設けていた会議を統合拡大して実施 県政一般に関する諸課題について意見交換**
- 11 日 「東北中央自動車道建設促進秋田・山形・福島三県議会協議会」、「日本海沿岸東北自動車道建設促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会」及び「羽越・奥羽本線等高速化促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会」(いずれも会長:坂本山形県議会議長)が、加藤鮎子国土交通大臣政務官らに対して要望活動を実施
- 11 日 県は、令和4年度ゴールデンウィーク期間における観光客入込状況を公表 主要観光地は約 47 万7千人(令和3年度比 160.7%)、イベントは約 26 万人(同 10,820.8%)
- 13 日 全国知事会と日本商工会議所など連携団体との意見交換会(Web 会議)に、吉村知事が全国知事会男女共同参画プロジェクトチームのリーダーとして参加 コロナ下で困難を抱える女性への支援等について意見交換を実施
- 14 日 新庄-酒田を結ぶ JR 陸羽西線が、併走する国道 47 号線のトンネル工事に伴い、14 日から約2年間の運休 東日本旅客鉄道株式会社は代行バスを運行
- 14 日 **JR、県内路線バスのキャッシュレス決済が可能になる地域連携 IC カード「cherica(チェリカ)」がサービス開始 同日、山交ビルで記念式典を開催し吉村知事が出席**
- 19 日 「つや姫」「雪若丸」のPRのため、県農業総合研究センター(山形市)において、吉村知事、つや姫レディ等が田植えを実施
- 20 日 県と国土交通省東北地方整備局は県庁で会合を実施 吉村知事、稲田雅裕国土交通省東北地方整備局長らが出席 高規格道路等の道路交通網整備、最上川水系の治水対策、酒田港の機能強化等について意見交換
- 25 日 県や県議会、市町村などで構成する山形県開発推進協議会(会長:吉村知事)が各府省を訪れ、「令和5年度政府の施策等に対する提案」に係る提案活動を実施 赤池内閣府副大臣、中村農林水産副大臣、島村厚生労働大臣政務官、岩田経済産業大臣政務官及び加藤国土交通大臣政務官に対し、提案内容を説明

- 25日 県さくらんぼ作柄調査委員会は、県内主要産地48園地における令和4年産のさくらんぼの作柄調査結果を発表 収穫量の予想は13,300t、平年比99%となり、作柄は「平年並」見込 凍霜害による被害があった昨年比で45%の増
- 27日 経済産業省及び東北経済産業局から工場立地動向調査が発表 2021年工場立地動向調査において本県が立地件数26件で東北1位(2年連続)
- 28日 訪日観光客の受入れ再開に向けて、観光庁が実施する訪日観光実証事業として、米国から3名の旅行会社関係者が来県 本県には30日まで滞在し、羽黒山、最上川舟下り、立石寺(山寺)、熊野大社、蔵王等を訪問
- 30日 県庁で、令和4年度「県いじめ問題対策連絡協議会」を開催 令和3年度のいじめに関する調査結果の認知件数は、県内の小中学校・高等学校・特別支援学校(国立・私立を除く)13,593件(前年度比1,256件増)と発表
- 31日 パレスグランデール(山形市)で「みんなの地球(あす)のためにチャレンジ! カーボンニュートラルやまがた県民運動推進大会」が開催 知事と県内の高校生、産業界・市町村・若者の代表者が、「ゼロカーボンやまがた2050」の実現に向けて運動に取り組んでいくことを宣言
- 31日 山形県戦没者墓地「千歳山霊苑」(山形市)において令和4年度拝礼式を実施

## 6月

- 1日 「やまがた夏旅キャンペーン」を開始 「やまがた春旅キャンペーン」から名称を変更し、利用期間を8月31日まで延長
- 1日 **県は、県職員が副業としてさくらんぼの収穫作業等に協力する「やまがたチェリサポ職員制度」の運用を開始 同様の制度は先例があるが一品目に限定しての実施は都道府県初**
- 2日 県議会6月定例会が開会(～6/21)
- 2日 令和4年度6月補正予算案を県議会に説明 原油価格・物価高騰対策、新型コロナウイルス感染拡大防止と経済再生の両立に係る経費等について一般会計補正予算額53億6,000万円を計上
- 2日 2日から4日、12日、19日の降雹・強風により、県内各地で農業被害 被害総額は農作物・施設計349百万円
- 3日 山形県産さくらんぼのブランド力強化を図るため、霞城セントラル(山形市)を主会場に、県内外の計6か所をオンラインで繋ぎ、「山形さくらんぼキックオフイベント」を開催 吉村知事が参加し、主産地代表者からの生育状況の報告、県内外の園児による合唱・ダンス、さくらんぼの贈呈等を実施

- 3日 令和3年の本県の出生数(概数)を公表 5,898人(前年比319人減)で6千人を下回るのは初 合計特殊出生率は1.32となり、前年比0.05ポイント減少 全国順位は32位
- 3日 令和3年外国人旅行者県内受入実績調査の結果(速報値)を公表 本県の受入延人数は17,463人(前年比△86.1%、108,467人減少)
- 4日 金山町有屋地内で、「やまがた森の感謝祭2022」を3年ぶりに開催 森林・林業功労者に対する知事感謝状の贈呈や、やまがた絆の森づくり団体・企業へのCO2認証書の授与、伐採跡地へのスギの植樹活動を参加者全員で実施
- 5日 若宮デジタル田園都市国家構想担当大臣が視察のため4日に来県 サイエンスパーク(鶴岡市)等を視察し、5日に農業総合研究センター園芸農業研究所(寒河江市)で吉村知事と意見交換
- 8日 第24回夏季デフリンピック競技大会水泳競技において100mバタフライで金メダル、200m個人メドレーで6位に入賞した齋藤京香選手が、結果報告のため、知事を表敬訪問
- 15日 令和4年度6月補正予算案について県議会に追加提案 中小企業への検査キット活用支援、保健所におけるコロナ対応業務効率化等に係る経費について一般会計総額6,400万円を計上
- 16日 吉村知事が、岸田内閣総理大臣を表敬訪問 佐藤錦と6月23日にプレデビューする大玉新品種「やまがた紅王」を贈呈
- 16日 県は、独自に行った新型コロナ後遺症の実態調査の結果を公表 後遺症を訴えた人の年代は7割超が20~50代の現役世代 全体の3割で症状が半年以上続いており、半数近くがワクチン未接種
- 20日 就農相談から経営の定着・発展までを一体的にサポートする「山形県農業経営・就農支援センター」を設置
- 23日 さくらんぼ大玉新品種「やまがた紅王」の先行販売が開始 同日、文翔館で、「やまがた紅王」の県内マスコミ向けプレデビュープレスイベントを開催 吉村知事と山形市の木の実こども園の園児たちがやまがた紅王を試食
- 24日 第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会山形県実行委員会設立総会を県庁で開催 同日、大会のテーマ「やまがた雪未来国スポ」、スローガン「一瞬の風になり 叶えよ君の夢」を発表及び最優秀賞表彰式を開催 テーマは湯乃村紘一氏(南陽市)、スローガンは岡部浩文氏(奈良県)と難波左近氏(山形市)を表彰
- 27日 県内における新型コロナの確認事例について、県内初のオミクロン株派生型「BA.5」感染の確認

- 27日 県内の広い範囲で大雨となり、各地で浸水、土砂崩れ等被害発生 北村山、最上、置賜地域の7市町で避難所が開設され、最大 231 名が避難

## 7月

- 1日 首都圏における「やまがた紅王」の認知度向上を図るため、大田市場(東京都)で「やまがた紅王」のトップセールスを実施 同日、歌舞伎座でプレデビュープレスイベントを開催 歌舞伎座における農産物のマスコミ向けイベント開催は初 知事のほか JA 全農山形の折原敬一会長、歌舞伎俳優の中村橋吾氏らが参加
- 1日 山形大学医学部附属病院地域医療連携センター(山形市)内に、医療的ケア児・者及びその家族等への専門的な支援を行う「山形県医療的ケア児等支援センター」を開所
- 1日 県は、県内の市役所・役場や大型ショッピングモールをバスで巡回し、車内で新型コロナウイルスワクチンを接種する「ワクチン巡回接種事業」を開始 8月 28 日まで
- 2日 JR山形駅で山形新幹線開業 30 周年の記念セレモニーが実施され、吉村知事が参加
- 3日 南陽市長に白岩孝夫氏が無投票で3選
- 10日 第 26 回参議院議員通常選挙 県選挙区で舟山康江氏が当選し3選 県選挙区における投票率は全国第1位の 61.87% 衆院選を含めた国政選挙では、4回連続1位
- 12日 全国知事会「第 37 回新型コロナウイルス緊急対策本部」に吉村知事が Web 会議で参加 オミクロン株派生型「BA.5」について科学的知見に基づいた情報提供、医療従事者・介護従事者の4回目ワクチン接種対象への追加、中小・小規模事業者等が感染再拡大の中でも事業活動を継続できる仕組みづくりを要請
- 19日 県は、新型コロナ第 56 回本部員会議を開催 急増する自宅療養者への支援体制の強化方針等について決定 同日、吉村知事が、臨時記者会見で県内の感染状況が「第7波」に入ったとの見解を発表
- 22日 ホテルキャッスル(山形市)で「「つや姫」「雪若丸」ブランド化戦略推進本部会議」を開催 令和5年産米の生産量について、「雪若丸」は約 2.6 万t、「つや姫」は約 5.4 万tと過去最大の生産量とすることに決定
- 22日 国の文化審議会は、長井市の「旧松岡家住宅主屋」など6件を登録有形文化財(建造物)に指定するよう答申 県内の登録件数は 195 件
- 22日 令和6年4月の開学を目指す東北農林専門職大学(仮称)の校舎新築工事の安全祈願祭を、新庄市の建設予定地において実施

- 24日 尾花沢市長に結城裕氏が初当選
- 25日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で県町村議会議長と知事の意見交換会を開催 県内の諸課題について意見交換を実施
- 26日 SDGsの実現に向けた取組みを推進することを目的とする「山形県 SDGs 推進本部会議」を開催 9月16日～10月16日を本県独自の「やまがた SDGs 推進月間」と定め、官民一体となって情報発信・啓発を実施すること等を決定
- 27日 全国知事会議が29日まで奈良県で開催され、吉村知事が出席 出産育児一時金の増額、保育料の完全無償化等子育て世帯の経済的負担の軽減等を提言 会議において、日本経済団体連合会と地方の中小企業における女性活躍に向けた諸課題について意見交換を実施 脱炭素・地球温暖化対策をテーマとしたセッションにも参加し、「カーボンニュートラルやまがた」の取組みを紹介
- 29日 県は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止を図るため、山形駅など県内4か所に臨時の無料抗原検査所を設置
- 29日 日本遺産「出羽三山 生まれかわりの旅」が、国の日本遺産審査・評価委員会の審査により、認定継続とともに特にポテンシャルが高く他のモデルとなる「重点支援地域」に選定
- 30日 令和3年度一般会計歳入歳出決算の概要を発表 歳入は7,478億900万円、歳出は7,349億5,200万円 歳入から歳出と繰越財源を差し引いた実質収支は過去2番目の黒字となる62億3,600万円

## 8月

---

- 1日 県自治会館で県市長会と知事の意見交換会を開催 県内の諸課題について意見交換を実施
- 2日 県庁を主会場にオンライン併用で、山形県総合政策審議会を開催 「第4次山形県総合発展計画」の進捗状況、今後の施策の推進方向等について審議
- 3日 **置賜地域を中心に記録的な大雨被害 気象庁が、米沢市、長井市、南陽市、高畠町、川西町、小国町、飯豊町の7市町に県内初の大雨特別警報を発表 県は災害対策本部を立上げ、被害のあった10市町に災害救助法適用を決定**
- 5日 8月3日からの大雨災害について、吉村知事が飯豊町、川西町の被災地を訪れ、現地視察 視察後、県庁からオンラインで二之湯智特命担当大臣(防災)、中山展宏国土交通副大臣に災害支援を緊急要望

- 7日 二之湯智特命担当大臣(防災)が大江町、飯豊町の被災状況を視察 大江町役場では吉村知事と大江町長が二之湯大臣へ復旧に向けた財政支援等を要望
- 9日 斉藤鉄夫国土交通大臣が大江町、飯豊町の被災現場を視察 吉村知事は、飯豊町町民総合センター「あ〜す」において、斉藤大臣に緊急要望書を手交 河川、道路等の復旧推進及びJR米坂線の早期全面復旧について要望
- 10日 『第6回「山の日」全国大会やまがた 2022』が開催 北海道・東北地方での開催は初 蔵王山周辺で記念登山が行われ、全国から約110名が参加 翌11日にはやまぎん県民ホール(山形市)で、『第6回「山の日」全国大会やまがた 2022』の記念式典が開催され、吉村知事が出席
- 12日 12日に、県とJR米坂線沿線の5市町が大雨災害により一部運休している米坂線の早期全線復旧を東日本旅客鉄道株式会社新潟支社へ、17日には東日本旅客鉄道株式会社本社へ緊急要望
- 24日 西村山地域の自治体首長等を構成員とする「西村山地域医療提供体制検討会」を設置し、初会合を開催
- 24日 豪雨により発生した国道121号法面崩落箇所について、吉村知事と内堀福島県知事が、管理している県に代わって国の権限代行による応急復旧を斉藤国土交通大臣へ緊急要望
- 26日 国道121号法面崩落箇所の応急復旧について、国土交通省が国の権限代行により実施することを発表
- 28日 東根市長に土田正剛氏が当選し7選
- 29日 吉村知事は関係府省(内閣府、総務省、国土交通省、農林水産省)を訪問し、豪雨災害に係る緊急要望活動を実施 谷公一内閣府特命担当大臣(防災)等に対して、災害復旧事業の推進など復旧・復興対策に関する項目について要望
- 30日 県は飯豊町に対して「被災者生活再建支援法」を適用することを発表 県内での適用は平成26年7月の大雨で被災した南陽市以来
- 31日 令和4年度山形県知恵袋委員会を開催 各地域合計28名に吉村知事よりオンラインで委員を委嘱 その後各総合支庁において総合支庁長と委員の意見交換会を実施

## 9月

- 1日 県は、新型コロナウイルス陽性判定について、発熱外来を受診せずにオンラインで自己登録する「陽性者登録センター」(9月14日から「陽性者健康フォローアップセンター」に統合)の運用を開始

- 2日 「やまがた秋旅キャンペーン」を開始 「やまがた夏旅キャンペーン」から名称を変更し、利用期間を10月10日まで延長
- 2日 飯豊町に続き、川西町に「被災者生活再建支援法」適用を決定
- 5日 山形国際交流プラザ(山形市)で、「山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟」(会長:吉村知事)の令和4年度促進大会を開催 「米沢トンネル(仮称)」及び奥羽・羽越両新幹線の実現に向けた事業計画について了承
- 5日 2010年バンクーバー冬季オリンピック・スピードスケート男子500m銅メダリストで山形市出身の加藤条治氏に吉村知事から山形県県民栄誉賞を贈呈
- 6日 最上町長に高橋重美氏が無投票で6選
- 6日 ローソンの「日本おこめぐり」キャンペーンで「雪若丸」おにぎりが全国販売
- 7日 パレスグランデール(山形市)で、第26回新潟・福島・山形三県知事会議を開催 2年ぶりの対面開催で、本県での開催は平成29年以来5年ぶり 8月の豪雨災害を踏まえた防災・減災対策の推進、被災箇所への早期復旧について、3県が連携して政府に要望していくこと等を確認
- 12日 令和4年度9月補正予算案を県議会に内示 新型コロナ対策、8月豪雨災害への対応、物価高騰への対応等について、一般会計補正予算額408億4,900万円を計上 補正額は記録の残る昭和44年度以降で過去最大
- 14日 本県において、国に先行して新型コロナ感染者の全数把握を見直し、発生病の対象を高齢者や重症化リスクの高い人等に限定する、把握の簡略化を開始
- 14日 県と明治安田生命保険相互会社は、健康増進、結婚・子育て支援に関すること等を項目として定めた包括連携協定を締結
- 16日 県議会9月定例会が開会(～10/7)
- 16日 「やまがたSDGs推進月間」開始 期間中、県庁、県立図書館等でポスター、関連図書、パネル等を展示し、SNSを活用するなどして広報・啓発活動を実施(～10/16)
- 22日 へき地診療所を受診する患者の通院の一部をオンライン診療で補完するモデル事業を開始
- 24日 県内でオミクロン株対応の「2価ワクチン」接種開始
- 28日 一般財団法人日本総合研究所「全47都道府県幸福度ランキング2022年版」において、山形県が東北トップの総合7位にランクイン 初回(2012年)から順位を上げ続けているのは山形県のみ
- 30日 「つや姫」「雪若丸」のPRのため、県農業総合研究センター(山形市)において、吉村知事、つや姫レディ、チーム雪若丸のメンバー等が稲刈りを実施

## 10月

- 1日 谷公一内閣府特命担当大臣(防災)が来県し、吉村知事とともに、8月豪雨により被災した飯豊町と川西町を視察 視察後、川西町役場において、吉村知事から谷大臣に豪雨災害に関する緊急要望書を手交し、川西町長及び飯豊町長を交えて意見交換を実施
- 3日 令和4年度9月補正予算案について県議会に追加提案 8月豪雨被災者への生活再建支援金や原油価格・物価高騰対策に係る費用等について一般会計総額9億 6,800 万円を計上
- 4日 令和6年度に鶴岡市に新設される庄内中高一貫校(仮称)の名称を「山形県立致道館中学校」「山形県立致道館高等学校」と発表 「致道館」の名称については公募において応募総数 713 件中最多の 103 件
- 4日 県は、令和3年度県産農産物の輸出量について、過去最多の 1,742t(前年度比 132%)となったことを発表 輸出額(推計)は、米の輸出額が増加したことにより、867 百万円(前年度比 106%)
- 4日 令和3年度の本県の主要観光地における観光客入込状況を公表 観光者数は 3,005 万 8,900 人で、各種キャンペーンの展開等により令和2年度より 9.3%増加
- 5日 政府は、8月3日からの大雨災害について、激甚災害として指定 また、当該災害に対する適用措置を指定する政令が公布・施行
- 6日 令和4年人事委員会勧告(月例給、特別給ともに3年ぶりの引上げ)・定年引上げに関する意見の申出
- 7日 県議会において、「北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射に断固抗議する決議案」を全会一致で可決
- 11日 観光庁の新たな観光需要喚起策である全国旅行支援として、県は「やまがた旅割キャンペーン」を開始
- 12日 都内で「雪若丸」のCM発表会が開催され、俳優の田中圭さん出演の新CMが初公開 同日、東京・三越銀座店で「つや姫」と「雪若丸」のトップセールスを実施
- 19日 令和4年度(令和3年6月～令和4年5月)の新規就農者数が前年度から1人増えて 358 人となり、過去最多を更新したことを発表 7年連続東北で一位
- 19日 南陽市のシェルターなんようホールにおいて、令和4年度山形県戦没者追悼式を実施 戦没者遺族及び来賓等約 350 名が参列

- 20 日 2050 年までに温室効果ガス排出実質ゼロを目指す「ゼロカーボンやまがた 2050」の実現に向け、本県の脱炭素社会づくりの方向性を示す「山形県脱炭素社会推進条例(仮称)」の策定検討委員会を実施(第2回は 11/22 開催)
- 20 日 県は、東北農林専門職大学(仮称)の設置認可申請書を文部科学省に提出
- 20 日 令和4年度山形県男女共同参画社会づくり功労者等知事表彰の表彰式を県庁で開催 功労者として1個人が、チャレンジ賞として1団体がそれぞれ受賞
- 21 日 9月7日に実施された「新潟・福島・山形三県知事会議」における合意事項について、三県が共同して国土交通省など関係省庁へ要望活動を実施 防災・減災対策の推進や東日本大震災の避難者支援等について要望
- 21 日 飯豊町町民総合センター「あ〜す」で開催された『第 10 回全国「道の駅」シンポジウムin飯豊』に、吉村知事が出席
- 23 日 山辺町長に安達春彦氏が初当選
- 24 日 県と東日本旅客鉄道株式会社が、山形新幹線米沢トンネル(仮称)整備計画の推進に関する覚書と山形県内の鉄道沿線の活性化等に関する包括連携協定を締結し、県庁で締結式を実施 併せて山形県奥羽・羽越新幹線整備実現同盟の関係団体から共同メッセージを発出
- 24 日 豪雨により法面崩落等が発生し、8月3日から全面通行止めとなっていた国道 121 号(米沢市入田沢～喜多方市熱塩加納町熱塩間)について、国の権限代行による応急復旧が完了し、片側交互通行により通行を再開
- 25 日 県庁で令和4年度「山形県デジタル推進本部会議」を開催 デジタル化に関する最新動向を踏まえ、昨年策定した「Yamagata 幸せデジタル化構想」を改訂
- 25 日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で県町村長と知事の意見交換会を開催 県内の諸課題について意見交換を実施
- 25 日 西洋なし「ラ・フランス」の予冷品の出荷を開始 取組み3年目となる地理的表示(GI)「山形ラ・フランス」等の消費拡大に向けた PR 活動を県内スーパーにて実施
- 26 日 北海道東北地方知事会議が北海道で開催され、吉村知事が出席 震災復興や脱炭素社会の実現に向けた対策の推進等についての意見交換や、提言をとりまとめ 吉村知事は、地域の取組みへの支援充実の重要性などについて発言
- 27 日 令和3年度「児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査」結果を公表 県内の小中学校・高等学校・特別支援学校(国立・私立を含む)で計 13,492 件のいじめが認知され、前年度に比べ 1,047 件増加

- 27日 山形県産業教育審議会が今後の県の産業教育の在り方について、県教育委員会に答申 答申は13年ぶり
- 28日 内閣府が女性活躍に係る課題・取組みについて、国内の女性首長から聞き取る「女性首長との車座対話」を開催し、吉村知事がオンライン参加
- 29日 東北中央自動車道「東根北IC～村山本飯田IC」間が開通 米沢～新庄間で唯一残っていた未接続区間が解消し、最上地域までが首都圏と高規格道路ネットワークで接続 同日、村山ICにおいて開通式典が開催され、吉村知事が出席
- 30日 国内外の経営者や学生、若者等が山形に集い、グローバルな共通課題等について議論する「YAMAGATA Youth Summit 2022」を開催 文翔館(山形市)でオープニングイベントが行われ、11月には県内4地域で地域セッションを実施

## 11月

---

- 1日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で令和4年度第2回県及び市町村長・議長会議を開催 8月豪雨災害への対応などの現下の諸課題等について意見交換を実施
- 2日 障がい者の工賃の向上を目指し、就労継続支援B型事業所に対し企業との取引の斡旋・紹介を行う「山形県共同受注センター」を開所
- 2日 吉村知事が名古屋市の名鉄百貨店本店、大阪市の高島屋大阪店で「つや姫」「雪若丸」トップセールスを実施
- 3日 **北朝鮮による弾道ミサイルの発射に伴い、本県を含む3県にJアラートによる警報が発令 県は危機対策本部会議を開き、県内の被害状況の有無、今後の対応について確認**
- 3日 文翔館(山形市)で齋藤茂吉文化賞(3名)、山形県産業賞(2名、1団体)、山形県科学技術賞(1名)の贈呈式を合同開催
- 4日 県と三菱自動車工業株式会社、山形三菱自動車販売株式会社は、「災害時における電動車両等の支援に関する協定」を締結 吉村知事及び2社の代表が県庁で締結式
- 7日 都道府県会館(東京都)で開催された全国知事会議に引き続き、総理官邸で開催された政府主催全国都道府県知事会議に吉村知事が出席 国土強靱化のさらなる推進に向けた広域交通ネットワークの整備加速について発言し、高速道路の着実な整備促進や「米沢トンネル(仮称)」の早期事業化に向けた財政支援について政府に要請

- 7日 県は、総合的な危機管理施策の推進等を図るため、危機管理調整会議を開催 北朝鮮の度重なる弾道ミサイル発射を受け、緊急一時避難施設を285か所追加指定する方針等を報告
- 8日 令和4年秋の叙勲・褒章の県内の受章者に対する伝達式(知事伝達分)を文翔館(山形市)で開催 県内からは、叙勲31名、褒章7名、危険業務従事者叙勲7名が受章
- 9日 県は、相次ぐクラスター発生を受け、高齢者施設、障がい者施設への抗原検査キット113万回分を無償配布する方針を決定
- 9日 県は、県産フルーツの魅力発信に取り組むための県及び関係団体による推進組織「山形県さくらんぼ&フルーツPR協議会」を設立
- 11日 「東北中央自動車道建設促進秋田・山形・福島三県議会協議会」、「日本海沿岸東北自動車建設促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会」及び「羽越・奥羽本線等高速化促進青森・秋田・山形・新潟四県議会協議会」(いずれも会長:坂本山形県議会議長)が、石井浩郎国土交通副大臣らに対して要望活動を実施
- 11日 やまぎん県民ホール(山形市)で、「山形県総合教育会議」を開催 教員の働き方改革の推進及び若手教員の育成について、県教育委員と吉村知事が協議
- 11日 「令和4年度卓越した技能者の表彰(現代の名工)」(厚生労働大臣表彰)が発表され、本県から1名が受賞決定
- 13日 長井市長に内谷重治氏が無投票で5選
- 17日 平山副知事が、関係自治体等とともに、国土交通省、財務省、自由民主党に対して高速道路3路線の整備推進を図るため、東北中央自動車道、日本海沿岸東北自動車道、宮城・山形横断自動車国道建設促進同盟会(各会長:吉村知事)の合同要望活動を実施
- 18日 11月11日に鶴岡市内で回収され鳥インフルエンザウイルスの陽性が確認されていた死亡野鳥(コハクチョウ)について、高病原性鳥インフルエンザウイルスが検出 県内での検出は初
- 19日 大江町沢口地内において、主要地方道大江西川線「貫見沢口間」の道路改良区間が全線開通し、安全祈願祭と開通式典が開催され、平山副知事が出席
- 20日 国道13号泉田道路(東北中央自動車道「新庄鮭川IC～新庄真室川IC」間)が開通 同日、新庄真室川ICにおいて開通式典が開催され、平山副知事が出席
- 21日 県庁で県市議会議長会と知事の意見交換会を開催 県内の諸課題について意見交換を実施

- 21 日 新庄市民文化会館において、第72回山形県福祉大会を開催 社会福祉関係団体・施設の職員、民生委員・児童委員等約400名が参加 開催はコロナ禍により3年ぶり
- 22 日 **県内における新型コロナの確認事例について、新たに2,207人の感染者の確認を発表 1日当たりの感染者数としてこれまでで最多**
- 22 日 保健衛生活動に貢献した個人や関係団体を表彰する「保健衛生関係功労者知事表彰式」を県庁で開催 41名3団体が受賞
- 24 日 令和4年度山形県観光審議会を開催 「第2次おもてなし山形県観光計画～beyond2020～」の進捗状況や観光振興施策の展開について審議
- 24 日 ホテルメトロポリタン山形(山形市)で、令和4年度山形県農業賞・林業賞・水産業賞表彰式を開催 大高根農場記念山形県農業賞は3名・1団体、川村造林記念山形県林業賞は2名、山形県水産業賞は1名が、それぞれ受賞
- 25 日 山形花笠まつりの花笠音頭の歌唱を担当してきた民謡歌手の大塚文雄氏に吉村知事から山形県特別功労賞を贈呈
- 28 日 ウクライナからの避難民1名について山形県で受入れ 県は、米沢市と連携して、必要な支援を実施
- 30 日 県は、新型コロナ第63回本部員会議を開催 県独自の目安(注意・警戒レベル)について、病床使用率等を目安として判断する新たなものに見直し 同日、記者会見において吉村知事は県内の感染状況について「第8波」に入ったとの見解を発表
- 30 日 県は、一般社団法人AZ-COM 丸和・支援ネットワークと「災害時における物資の輸送・荷役等に関する協定」を締結
- 30 日 庄内総合支庁において、「東北公益文科大学の公立化と機能強化に係る庄内地域2市3町と県との意見交換の場」の実施 庄内地域2市3町の首長と平山副知事が公益大の公立化等について意見交換
- 30 日 県は、東北福祉大学と学生UIターン就職促進に関する協定を締結 学生UIターン就職促進に関する協定は28校目

## 12 月

- 1 日 県議会12月定例会が開会(～12/20)
- 1 日 令和4年度12月補正予算案を県議会に説明 原油価格・物価高騰への対応、新型コロナへの対応等について一般会計補正予算額54億4,800万円を計上
- 1 日 令和5年度当初予算の要求概要を公表 一般会計の予算要求規模6,875億円(前年度当初予算比0.4%増)

- 3日 政府主催の国際女性会議「WAW！2022」に吉村知事が分科会の登壇者として参加し、「女性と防災」について各国のトップリーダー等と意見交換を実施
- 5日 国、県、市町村等からなる最上川流域治水協議会は、8月豪雨災害で被災した置賜地域において、「最上川上流(置賜地域)緊急治水対策プロジェクト」に着手することを発表
- 8日 県は、鶴岡市の養鶏場で発見された異状家きん7羽について、高病原性鳥インフルエンザの疑似患畜と確定したことを発表 県内養鶏場での鳥インフルエンザ確認は初 県は、家畜伝染病予防法に基づき家きん等の移動制限及び搬出制限を設定し、消毒ポイントを設置するとともに、当該養鶏場等における飼養家きん6万8,382羽の殺処分、埋却、鶏舎の消毒等の防疫措置を12日までに完了 搬出制限は12月27日、移動制限は1月3日に解除
- 14日 令和4年度12月補正予算案について県議会に追加提案 政府の総合経済対策に対応したもので、最上川の緊急治水対策プロジェクトに基づく河川整備費用のほか、物価・原油価格高騰への対応等について一般会計総額375億8,700万円を計上
- 16日 国の文化審議会は、鶴岡市の「旧東田川郡役所及び郡会議事堂」など7件を国指定史跡に指定するよう答申 県内の国指定史跡の件数は31件
- 19日 20日にかけて県内各地で大雪となり、人的被害、建物被害等が発生 大蔵村肘折では肘折温泉全域で停電となり、12月20日時点で積雪深が全国最大の232cm
- 22日 県は、さくらんぼの大玉新品種「やまがた紅王」の最上級規格の名称を「やまがた紅王 プレミアム」とすることを発表 プレミアムの規格は4L以上(直径31ミリ～)、着色割合80%以上に設定
- 22日 第78回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」のシンボルマーク及び公式ポスター図案を発表
- 23日 県内各地で大雪となり、山形地方気象台は県内初の「顕著な大雪に関する気象情報」を発表 県は23日に寒波に係る危機管理対策会議を開催し、気象情報の提供と注意喚起当を実施 翌24日に豪雪対策本部を設置し、県内の被害状況、今後の対応等について確認 12月中の豪雪対策本部設置は初
- 23日 令和5年度政府予算案等が閣議決定 これを受け吉村知事は「、これまでに本県が行ってきた政府への提案や、全国知事会を通じた要請の内容を概ね受け止めていただいたものと捉えております」とコメント
- 23日 県は、山形大学と「カーボンニュートラル実現に向けた取組みに関する連携協定」を締結 県庁で締結式を実施 外部との脱炭素化の推進に向けた連携協定締結は初

- 24 日 年末年始の医療提供体制のひっ迫を回避するために、ホテルメトロポリタン山形(山形市)内に無料の抗原検査所を臨時設置
- 26 日 第 78 回国民スポーツ大会冬季大会スキー競技会「やまがた雪未来国スポ」のシンボルマーク最優秀賞表彰式を県庁で開催 応募作品 178 点から選ばれた菅野薫氏(山辺町)を表彰
- 27 日 農林水産省が令和3年農業産出額を発表 本県は 2,377 億円(前年比 6.8%減)と2年連続の減少となり、全国順位は第 13 位(前年 13 位)、東北第 3 位(前年 3 位)
- 31 日 鶴岡市西目地内で大規模な土砂崩れが発生 県は鶴岡市に災害救助法の適用を決定し、吉村知事は陸上自衛隊に災害派遣を要請 同日午後、知事は鶴岡市長と共に被災現場を視察

作成 令和5年3月30日  
山形県総務部広報広聴推進課  
山形市松波二丁目8番1号  
電話番号 023(630)2106